

施策評価シート（令和3年度 実績）

まちづくりの方向性	交通環境と防災対策の向上
重点の方針	3-3 都市基盤の強化と町民の交通環境の向上
概要	<p>安全で快適な暮らしを支える道路や橋りょう、トンネル等、都市基盤の適切な維持管理を計画的に推進するとともに、交通不便地域の解消に努め、町民の交通環境の向上を図ります。</p> <p>都市機能・行政機能が集中する二宮駅やラディアン周辺へ、誰もが移動しやすいよう、道路整備を進めるとともに、公共交通による移動のしやすさの向上を図ります。</p>

No.	関連する予算等事業名	トータルコスト（千円）			庁内評価（2次評価）		
		R1	R2	R3	R1	R2	R3
1	土木管理経費	5,889	6,159	7,310	適当・維持	適当・維持	適当・維持
2	道路新設改良事業	1,447	15,063	9,222	適当・維持	適当・維持	適当・維持
3	道路維持管理経費	212,804	120,159	156,164	適当・維持	適当・維持	適当・維持
4	狭あい道路等拡幅整備事業	31,925	28,118	36,743	適当・維持	適当・維持	適当・維持
5	河川維持管理経費	1,630	1,954	1,889	適当・維持	適当・維持	適当・維持
6	地域公共交通推進事業	1,190	3,525	2,244	適当・維持	適当・維持	適当・維持
7	コミュニティバス運行事業	10,535	12,938	13,720	適当・維持	適当・維持	適当・維持
合計		265,420	187,916	227,292			

成果（○） 課題等（●）	<p>○通学路である町道中里11号線を拡幅し歩道を設置したことにより、歩行者の安全が図られた。</p> <p>○令和2年度にコロナの影響により乗車人数は減少したが、令和3年度は大人の利用者が回復したため、数値は改善した。また、バスルートの見直しを行った結果、令和4年10月より新たにザ・ビッグまでルートの延長を行うこととした。</p>
-----------------	---

分析					
分析の視点	高い	←————→			低い
	5	4	3	2	1
妥当性	■	□	□	□	□
有効性	■	□	□	□	□
効率性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□

※1次評価 「A：十分な成果があった」「B：一定の成果があった」「C：あまり成果がなかった」「D：成果が得られなかった」

総合評価（評価・理由等）	
B：一定の成果があった	<p>町道の日常点検、定期点検パトロールの実施などにより、道路の修繕箇所を把握し、迅速な対応を実施している。</p> <p>交通環境については、既存公共交通の状況や、町コミュニティバス利用者等の利用実態等を踏まえ、新ルートの検討、決定をすることができた。</p>

※ 町の最終方針「継続推進」「一部改善」「抜本的見直し」

町の最終方針（今後の方向性）	
継続推進	<ul style="list-style-type: none"> 今後も、道路等の点検結果に基づき、優先されるべき必要箇所を見極めながら、効率的に改修等を推進していく。 地域公共交通については、交通計画の改定なども見据え、高齢化や路線バスの減便に対し、より実態に即した施策を行えるよう検討を進める。